

手稻溪仁会病院

所属メンバー

- ・衣川 佳数 (部長、昭和 58 年卒)
- ・岩田 正道 (主任医長、※母子はぐくみセンターセンター長、昭和 62 年卒) ※10 月から
- ・南雲 淳 (主任医長、平成 1 年卒)
- ・佐々木 康 (主任医長、平成 4 年卒) ※11 月より非常勤へ
- ・杉原 暁美 (主任医長、平成 6 年卒、独自採用、医会未入会)
- ・小杉山清隆 (主任医長、平成 7 年卒)
- ・齋 秀二 (主任医長、平成 11 年卒、独自採用、医会未入会)
- ・田村 卓也 (主任医長、平成 13 年卒、独自採用、医会未入会)
- ・大谷 杏奈 (主任医長、平成 16 年卒、独自採用、医会未入会) ※8 月より休職

非常勤医師

- ・板倉 治 (昭和 61 年卒) : 一般外来
- ・藤原ふみえ (平成 11 年卒) : 一般外来
- ・山根 麻子 (平成 14 年卒) : 一般外来
- ・及川 純子 (平成 18 年卒、独自採用、医会未入会) : 一般外来

非常勤医師 (専門外来)

- ・白石 秀明 (平成 4 年卒) : 神経外来
- ・永島 哲朗 (昭和 50 年卒) : 神経外来

卒後臨床研修医

5 名

専門外来

- ・心臓・川崎病外来 (×9/週) ; 金曜日午後以外すべて
- ・アレルギー・喘息 (×2/週)
- ・消化器・代謝 (×1/週)
- ・呼吸器 (×2/月)
- ・神経 (×1/週)

手稲溪仁会病院

病院全体の医師数	25人(平成28年4月1日現在)
小児科医師数	18人(うち非常勤4人、後期研修医相当5人)

病院全体の病床数	636床
小児科病床数(NICU、ベビーを除く)	27床
NICU病床数	3床 → 6床 ※平成28年8月より増床
新生児病床数(NICUを除く)	0床 → 6床 ※平成28年8月より増床

NICUとしての認定 あり

平均小児科外来数	57人/日
平均時間外外来数	9人/日 (小児科医が診察したものです)

年間入院患者数	1,537人/年
年間のべ入院患者数	11,546人/年 (入院患者数×入院日数)
年間時間外入院患者数	500人/年

年間分娩数	526人/年
年間低出生体重児(2,500g未満)数	115人/年
極低出生体重児(1,500g未満)数	4人/年
年間呼吸管理患者数	3人/年

手稲溪仁会病院

論文・著書など

1. 衣川佳数：頑張り子どもたち. 北海道医報 第1179号 2016/12/1
2. Shuji Sai, Masaki Yamamoto, Rie Yamaguchi, Karen Chapman, Teruaki Hongo :
Reciprocal Regulation of 11β -HSDs May Predict Steroid Sensitivity in Childhood
Nephrotic Syndrome. *Pediatrics* 2016;138(3):e20154011 2016/8/9
3. 田村卓也：クループ症候群. 小内科 10月号 48巻(10号)：16年Oct
4. 田村卓也：小児救急のルール. *Emergency Care* 30巻(3)：15-16 17年Mar
5. 田村卓也：小児のNIVは有効なのか？. 救急集中治療 29巻(9/10)：16年Sep
6. Ryo Itoshima : Extrarenal Nephroblastoma of the Retroperitoneal Space in Children:
A Case Report and Review of the Literature. *J Pediatr Hematol Oncol* 39(4) : 296-298
May-17

学会発表

全国学会

1. 中村千紘、糸島亮、田村卓也、齋秀二、小杉山清隆、杉原暁美、佐々木康、南雲淳、岩田正道、衣川佳数：当院で認めた新生児無呼吸発作の検討 ～早産児・正期産児の比較～. 日本小児科学会、札幌、2016/5/12
2. Kanako Horibe, Shadia Constantine, Hotaka Kamasaki, Noeru Miyake, Shuji Sai, Takako Takeuchi, Hiroyuki Tsutsumi: Normokalemic Thyrotoxic Periodic Paralysis: A Case Report of a Painful, Episodic Muscle Paralysis as Initial Manifestation of Graves' Disease in 15-Year-Old Adolescent. SGIM Annual meeting 2016 Hollywood, Florida 2016/5/12
3. 田村卓也：児童虐待の早期発見と児童相談所への通告. 第119回日本小児科学会学術集会, 分野別シンポジウム、ロイトン札幌、2016/5/14
4. 齋秀二、山本雅紀、山口理恵、Karen Chapman、本郷輝明： 11β -hydroxysteroid dehydrogenase は小児ネフローゼ症候群のステロイド感受性を予測できるかもしれない. 第50回日本小児内分泌学会学術集会、浜松、2016/11/17

地方学会

1. 野上正雄、荒井勇人、篠原未来、三宅のえる、糸島亮、田村卓也、齋秀二、藤原ふみえ、小杉山清隆、杉原暁美、佐々木康、南雲淳、岩田正道、衣川佳数：小児甲状腺クリーゼの4例. 日本小児科学会北海道地方会第297回例会、札幌、2016/12/4

2. 荒井勇人、田村卓也、篠原未来、野上正雄、三宅のえる、糸島亮、齋秀二、小杉山清隆、杉原暁美、南雲淳、岩田正道、衣川佳数：てんかん発作重積との鑑別に難渋した二相性脳症（AESD）の一例。日本小児科学会北海道地方会第297回例会、札幌、2016/12/4
3. 石川浩三、齋秀二：若年1型糖尿病における骨髄間葉系幹細胞の膵島β細胞再生への応用。第38回北海道小児内分泌研究会、札幌、2017/1/28
4. 清水隆文、奈良理、田村卓也、齋秀二：重篤な経過をたどった小児甲状腺クリーゼの1例。第38回北海道小児内分泌研究会、札幌、2017/1/28
5. 糸島亮：インフルエンザA感染症を契機に脳梗塞を発症したもやもや病の小児例。日本小児科学会北海道地方会第298回例会、札幌、2017/2/26
6. 荒井勇人、篠原未来、野上正雄、三宅のえる、糸島亮、田村卓也、齋秀二、小杉山清隆、杉原暁美、南雲淳、岩田正道、衣川佳数：メチシリン感受性黄色ブドウ球菌（MSSA）肋骨骨髓炎の一例。日本小児科学会北海道地方会第298回例会、札幌、2017/2/26

その他社会貢献など

1. 齋秀二：小児疾患におけるステロイドホルモン代謝酵素の働き。札幌小児科医会、札幌、2016/6/10
2. 齋秀二：Reciprocal Regulation of 11β -HSDs May Predict Steroid Sensitivity in Childhood Nephrotic Syndrome. 浜松医科大学小児科研究奨励賞特別講演、浜松、2016/7/24
3. C L S安達梓、齋秀二：当院におけるC L Sの役割と活動。J C Rファーマ講演会、東京、2016/9/2
4. C L S安達梓、齋秀二：当院におけるChild Life Specialistの役割と活動。子どもの成長を考えるフォーラム、神戸、2016/10/1
5. 齋秀二：小児1型糖尿病について。手稲前田小学校研修会、札幌、2016/11/29
6. 田村卓也：虐待予防から育児支援まで。小樽市、小樽市保健所、2016/12/12
7. 田村卓也：こどもとN I V。愛媛県立中央病院救急カンファレンス、愛媛県立中央病院、2016/11/2
8. 田村卓也：子どもの不機嫌と痛みを科学しよう。第7回小児救急医学会教育セミナー、金沢大学附属病院、2016/12/3-4
9. 田村卓也：P A L Sプロバイダーコース。J S P I C C主催P A L Sプロバイダーコース、手稲溪仁会病院、2016/6/25-26
10. 田村卓也：P A L Sプロバイダーコース。J S P I C C主催P A L Sプロバイダーコース、手稲溪仁会病院、2016/11/19-20
11. C L S安達梓：医療を必要とする子ども達・ご家族への心理社会的サポート。砂川市立病院附属看護専門学校、砂川、2016年6月

12. C L S 安達梓：急性期総合病院における C L S の役割と活動. ノボ・ノルディスクファーマ株式会社主催：Nordicare Meister Program in Sapporo、TKP 札幌カンファレンスセンター 2 階、2016 年 8 月
13. C L S 安達梓：急性期総合病院における C L S の役割と活動. J C R ファーマ社内講演会、J C R ファーマ東京事務所 10 階会議室、2016 年 9 月
14. C L S 安達梓：当院における C L S の役割と活動. 子どもの成長を考えるフォーラム、ANA クラウンプラザ神戸、2016 年 10 月